

リオ州の治安情報第1号

チクングニア熱の流行

【チクングニア熱の発生状況】

ブラジル政府保健省が発表した2016年（1月～12月）の統計によれば、リオ州でチクングニア熱に感染した疑い例は17,590件で、2015年（62件）と比べて約300倍に増加しています。また、感染者の内10人の死亡が確認されています。

なお、同様に蚊を媒介して感染するデング熱のリオ州における発生数は82,552件で、前年（68,890件）比約1.2倍の増加、ジカウィルスについては、67,481件（前年統計なし）となっています。

冬期で蚊の数が減少する7月以降、いずれも発生数は減少傾向にありますが、これから夏期を迎え、昨年以上の大流行となる可能性もあります。

【他州との比較】

昨年中の人口10万人当たりのチクングニア熱の感染疑い例を他州と比べてみると、リオ州（106.3件）、ミナスジェライス州（6.3件）、サンパウロ州（9.3件）、エスピリトサント州（10.0件）となっており、特にリオ州内におけるチクングニア熱の発生数が突出しています。

【チクングニア熱とは】

チクングニア熱は蚊に刺されることで広がるウイルス性疾患です。「チクングニア」とは、アフリカの現地語で痛みによって「かがんで歩く」という言葉に由来します。最近、ヨーロッパやアメリカ大陸にも感染者が広がり、年々患者数が増加している感染症です。

以下厚生労働省検疫所ホームページ参照

<http://www.forth.go.jp/useful/infectious/name/name32.html>

【当館から】

- リオ市保健局では、1月1日、2017年中の大流行を予想して、ホームページ上でデング熱、チクングニア熱等蚊が媒介する感染症についての警戒情報を発しているほか、1月3日付け当地主要紙「オ・グローボ」では、リオ州保健局長がこの夏のリオ市内におけるチクングニア熱の大流行について注意を呼びかける状況が大きく報じられています。
- チクングニア熱は蚊を媒介とするため、蚊に刺されないことが唯一の予防法となります。屋外に長時間出るときは長袖長ズボンを着用する、虫除けスプレーを活用するなど予防を徹底しましょう。